



2024年5月2日

各位

会社名 住友商事株式会社
代表者名 代表取締役 社長執行役員 CEO 上野 真吾
(コード：8053 東証プライム)
問合せ先 広報部長 長澤 修一
(TEL：03-6285-3100)

アンバトビーニッケルプロジェクトにおける損失の発生に関するお知らせ

2024年3月期第4四半期連結決算(2024年1月1日~2024年3月31日)において、当社がマダガスカル共和国にて推進中のアンバトビーニッケルプロジェクトに関して、約890億円の減損損失を計上しましたので、お知らせ致します。また、2024年3月期の個別決算においても子会社株式につき約950億円の評価損失を計上しておりますので、あわせてお知らせ致します。

記

1. 損失計上に至った経緯・内容

当社は2005年、マダガスカル共和国でニッケル採掘から精錬までを一貫して手掛けるアンバトビーニッケルプロジェクトに参画しました。当社の100%子会社であるSummit Ambatovy Mineral Resources Investment B.V.(本社：オランダ王国アムステルダム、以下「SAMRI」)を通じて、マダガスカルにおけるニッケル採掘事業会社であるAmbatovy Minerals S.A.及びニッケル精錬会社であるDynatec Madagascar S.A.(本社：マダガスカル共和国アンタナナリボ、以下両社を称して「プロジェクト会社」)に各54.17%の出資を行っており、Korea Mine Rehabilitation and Mineral Resources Corporation(本社：韓国江原道、出資比率45.82%)と共同で事業を行っています。

事業参画以来、高位安定操業に向けて取り組んで来ましたが、プラント設備の不具合等、足元の操業状況を踏まえて生産量の見直しを下方修正し、今般事業計画の見直しを実施致しました。プロジェクト会社が保有する固定資産につき見直し後の事業計画に基づいて回収可能価額まで減損損失を認識した結果、当社の連結決算及び個別決算におきまして、以下の通り損失を計上したものです。

(1) 連結決算

SAMRIのプロジェクト会社に対する投融資につき、「持分法による投資損益」等、約890億円の減損損失を計上しました。

(2) 個別決算

当社のSAMRIに対する投資につき、「投資有価証券評価損」約950億円を営業外費用として計上しました。

2. 今後の見通し

足元では前述のプラント設備の不具合解消に注力しつつも、同時に、株主として、本事業の社会的意義や当社の責務もふまえつつ、昨今の市場環境も織り込んで、あらゆる選択肢を俎上に載せて、関係ステークホルダーにとって最適・最良な結果となるような方針を見定めてまいります。

以上